



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 近畿運輸局 交通政策部 環境・物流課

(担当) 山田・竹森

(電話) 06-6949-6410

令和4年1月20日

～ 交通環境セミナー ～

燃料電池バス／電気バスの導入にあたっての勘どころ  
&交通分野における環境施策のご紹介

 近畿運輸局公式 YouTube チャンネルで同時 Live 配信します。

国土交通省では2050年カーボンニュートラルの実現、気候危機への対応など、グリーン社会の実現に向け、2030年度までの10年間に重点的に取り組む分野横断・官民連携のプロジェクト、政策パッケージを戦略的に実施するために「国土交通グリーンチャレンジ」を昨年7月にとりまとめたところです。

そうしたなか、「令和3年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰」の各受賞者の取り組み（別添）についてご紹介するほか、燃料電池バス・電気バスの導入にあたっての勘どころについて、学識者のほか、すでに導入されているバス事業者から当事者ならではの事例を発表いただくセミナーを開催いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

記

日時：令和4年2月24日（木）14：00～16：40（予定）

会場：大阪科学技術センター 8階 大ホール

（大阪市西区靱本町1-8-4 TEL：06-6443-5324）

内容：別添パンフレット参照

参加申込方法：別添パンフレットの参加申込方法によりお申込み下さい。

参加費：無料

定員：会場100名（先着順）

なお、当日の資料につきましては、後日近畿運輸局ホームページに掲載する予定です。

※取材を希望される場合は別紙「取材申込用紙」により、2月18日（金）までにご提出をお願いします。

配布先

青灯クラブ 大阪経済記者クラブ

陸運記者会（ハイタク部会、トラック部会）


参加無料

## ～ 交通環境セミナー ～

燃料電池バス／電気バスの導入にあたっての勘どころ  
& 交通分野における環境施策のご紹介

現在、国土交通省では2050年カーボンニュートラルの実現、気候危機への対応など、グリーン社会の実現に向け、2030年度までの10年間に重点的に取り組む分野横断・官民連携のプロジェクト、政策パッケージを戦略的に実施するために「国土交通グリーンチャレンジ」を昨年7月にとりまとめたところです。

そうしたなか、「令和3年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰」の各受賞者の取り組みについてご紹介するほか、燃料電池バス・電気バスの導入にあたっての勘どころについて、学識者のほか、すでに導入されているバス事業者から当事者ならではの事例を発表いただくセミナーを開催いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

- ◆令和4年2月24日（木）14：00～16：40（予定）  
（受付開始：13：30～）
- ◆会場：大阪科学技術センター 8階 大ホール(アクセス裏面参照)  
（大阪市西区靱本町1-8-4 TEL：06-6443-5324）  
 近畿運輸局公式 YouTube チャンネルで同時 Live 配信します！
- ◆参加費：無料 定員：会場参加100名（先着順）  
なお、当日の資料につきましては、後日近畿運輸局ホームページに掲載する予定です。

## （第1部）

## 令和3年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰受賞者と有識者による座談会

- ▶コーディネーター  
小谷 通泰 氏（神戸大学 名誉教授）
- ▶パネリスト（令和3年度表彰受賞者）  
京都バス株式会社  
八尾市グリーン交通・配送推進協議会（現：ゼロカーボンシティやお推進協議会）

## （第2部）

## 燃料電池バス・電気バスの導入にあたっての勘どころ

## 【基調講演】

- ▶講師：紙屋 雄史 氏（早稲田大学理工学術院 教授）  
「我が国におけるバス電動化の動向ならびに電気バスと燃料電池バスの特徴比較」

## 【取組発表】

- ▶発表1：東京都交通局  
「東京都交通局における燃料電池バスの導入状況」
- ▶発表2：株式会社みちのりホールディングス  
「みちのりグループの電動化に向けた取り組みについて」

※内容については現時点におけるものであり、今後変更となる場合がありますのでご了承ください。

主催 国土交通省 近畿運輸局／後援 一般財団法人 近畿陸運協会

## 参加申込方法（令和4年2月24日開催）

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記申込先（関西交通経済研究センター）あてメールにてお申し込み下さい。

●会場参加：定員100名（先着順）

\*WEB参加をお申込みの方には、令和4年2月21日（月）までに担当者欄に記入したEメールあてに視聴用URLをメールでお知らせします。

### ■ 申込先

Eメール: info@kankouken.org

### ■ 会場参加される皆様へ

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日受付にて検温を行います。
  - ※体温が37.5℃以上ある場合は聴講いただけません。また、必ずマスクの着用をお願いいたします。
  - ※併せて、当日「大阪コロナ追跡システム」にご登録をお願いいたします。
  - ※感染状況により、WEB配信のみとさせていただく場合があります。
- その際は担当者欄に記入したEメールあてにご連絡いたします。

(会場アクセス)

Osaka Metro 四つ橋線 本町駅下車  
28号出口より北へ徒歩5分

Osaka Metro 四つ橋線 肥後橋駅下車  
7号出口より南へ徒歩5分



## 参加申込書

ご担当者記入欄

※申込締切日：令和4年2月17日（木）

団体名	
ご担当者	
E-mail	
TEL	

◆参加者欄：参加方法の□にチェックを入れて下さい。上記申込みご担当者様も参加の場合は下欄に再掲ください。

参加方法	お名前	所属・役職
<input type="checkbox"/> ①会場		
<input type="checkbox"/> ②WEB		
<input type="checkbox"/> ①会場		
<input type="checkbox"/> ②WEB		
<input type="checkbox"/> ①会場		
<input type="checkbox"/> ②WEB		
<input type="checkbox"/> ①会場		
<input type="checkbox"/> ②WEB		

[個人情報の取扱いについて]

当センターは、参加申込書にご記入頂きました個人情報を厳正に管理し、本セミナーに関する確認・連絡の通知の際に使用させていただきます。他の目的での利用や第三者へ提供することは一切ございません。

### 【本催事に関するお問い合わせ先】

近畿運輸局 交通政策部 環境・物流課  
〒540-8558 大阪府中央区大手前4-1-76  
大阪合同庁舎4号館 ☎ 06-6949-6410

### 【参加申込先】

公益財団法人関西交通経済研究センター業務部  
〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-7-2  
ウエストスクエアビル9F ☎ 06-6543-6291

# 京都バス株式会社

例年、多くの観光客が訪れる秋の紅葉シーズン(11月)において、市内中心部の移動については地下鉄への転換を促す取組を行うことで、バス運行の渋滞回避のみならず、当該地域の渋滞緩和が図られ、バス車両の燃費改善及び地域の環境負荷の低減に大きな成果を出している。

## 取組内容・効果

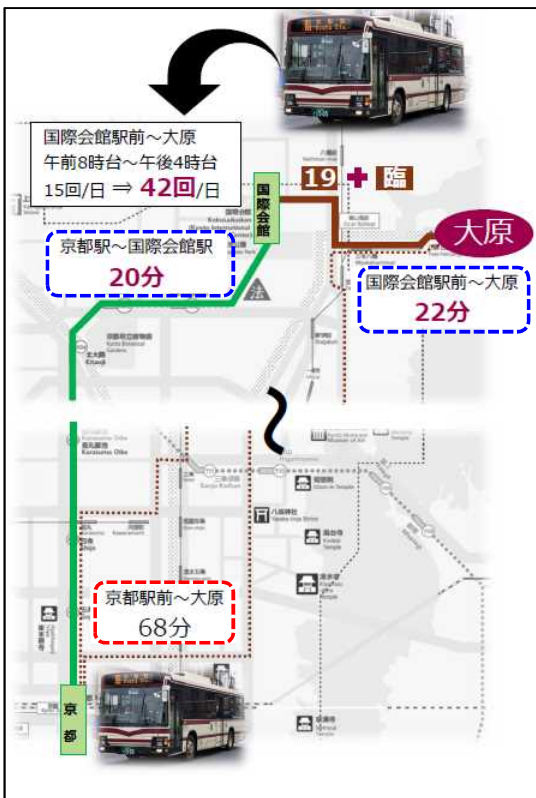
これを実現する取組として、京都駅から国際会館駅までは地下鉄を利用するよう積極的な周知につとめ、バスの利用を国際会館前から案内することや、例年実施していた京都駅～大原間の臨時便を抑制し、国際会館前～大原間の輸送力を強化したことにより、令和元年は約3%、令和2年は約4%車両燃費を改善した。(平成30年同月比)本取組は今後とも継続して実施する計画としている。

さらに本取組のほか、ハイブリッド車両の継続的な導入も進め、令和3年1月現在で全9両保有。(保有車両数:111両)

今後についても、ハイブリッド車両等の電動車両を順次導入する方針としている。

当該取組については、昨年12月、京都市より「京都市事業者排出量削減計画書制度における特別優良事業者表彰」を受表彰した。

## 大原地域における移動経路の分散化



## 京都市交通局と連携し様々な方法により周知



## 多言語でも周知



## その他の周知方法

- ☑京都市交通局、京都バス双方のホームページや立て看板により案内
- ☑京都バス係員、京都市バスおもてなしコンシェルジュより、京都駅等のバスのりばにて利用客に対し直接に案内

※京都市バスおもてなしコンシェルジュ

京都市交通局協力会の職員と、留学生を含む、語学に堪能な京都市内の大学生スタッフが中心となり、京都駅や市内の観光地等で案内業務に従事

◆1日あたり運行便数 (1往復=2回)		土曜日			休日		
		H30年	R元年	R2年	H30年	R元年	R2年
京都駅 ～大原	シーズン前	54	54	50	53	53	51
	シーズン中	88	54	50	87	53	51
国際会館 ～大原	シーズン前	48	48	53	44	44	51
	シーズン中	55	96	77	51	92	75

## ポイント

取組の結果、令和元年からは、例年実施していた京都駅～大原間の臨時便を抑制し、国際会館前～大原間の輸送力を強化



# 八尾市グリーン交通・配送推進協議会

EC市場の拡大に伴い再配達が増加傾向であることを受け、不在であっても荷物を受け取ることができるよう、宅配ボックス事業者と協働し簡易型宅配ボックス「OKIPPA」を用いた再配達防止実証実験(令和2年1月20日～2月16日)を実施することによりCO<sub>2</sub>の排出を抑制し、地球温暖化対策に大きな成果を出している。

## 取組内容・効果

八尾市内に居住する724世帯を対象に、簡易型宅配ボックス「OKIPPA」(Yper株式会社製)を無償提供し再配達防止実証実験を実施。

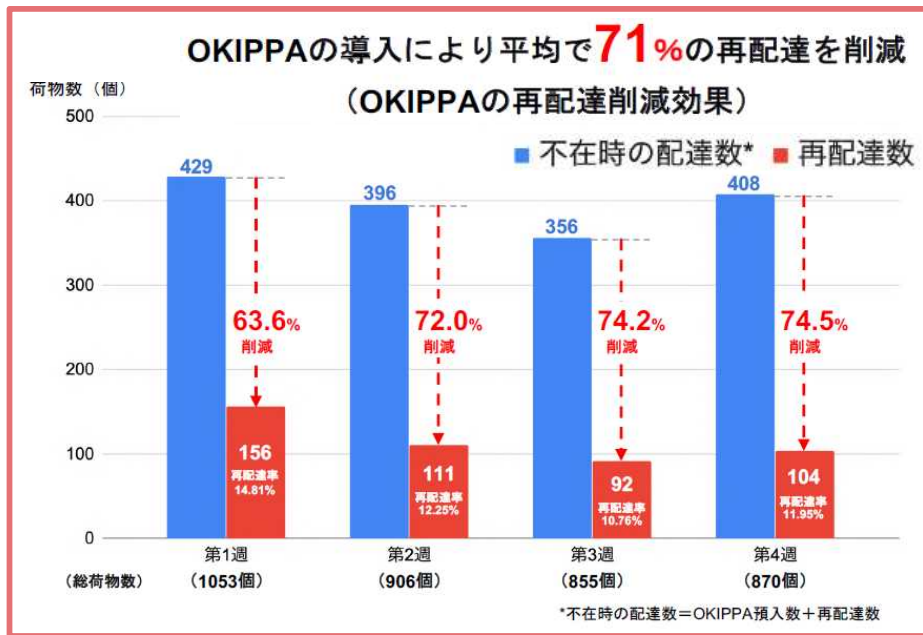
(実施期間:令和2年1月20日～2月16日)

これにより、**平均71%の再配達を削減**。また、期間中の再配達率は**12.57%**であった。(全国平均:16%)

実証実験により、**二酸化炭素排出抑制量は約528kg(スギの木約60本が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当)**であった。

実証実験後も、引き続き再配達防止の啓発動画やポスターの作成等、地球温暖化防止に向けたさらなる普及啓発を実施している。

## 簡易型宅配ボックス「OKIPPA(オキッパ)」 (Yper株式会社製)



## 再配達防止キャンペーン (H30～)



再配達防止に関するポスターや卓上のぼりを小売店舗で掲示

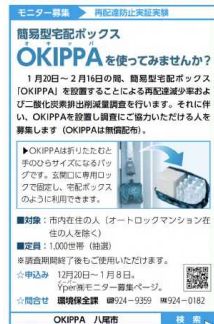
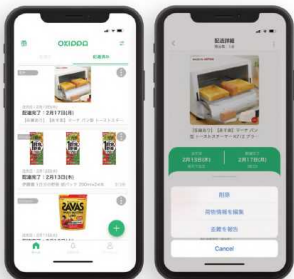
## ★主な取組内容

- (1)エコドライブの実践
- (2)配送の効率化の推進
- (3)グリーン配送適合車への転換
- (4)グリーン配送による納入(一般事業者)
- (5)物品の調達等へのグリーン配送の要請 (購入事業者)
- (6)グリーン配送による輸配送の実施 (運送事業者)
- (7)意見交換・情報交換の実施
- (8)啓発・広報活動の推進

## 八尾市グリーン交通・配送推進協議会について

大気汚染や地球温暖化を防ぐため、エコドライブや配送の効率化の推進のほか、意見交換や情報交換を行い、啓発・広報活動に取り組む協議会。市民・事業者・行政によって構成される。(2005年設立)

アプリで配送状況を管理でき、荷物は玄関前のOKIPPAへ預入



市政だよりの掲載記事